

⚠ 本製品はブレーンスポーク専用ネジ切り器です。用途以外には使用しないでください。

# HOZAN

## C-702-13/14/15

スポークネジ切り器(#13)/(#14)/(#15)

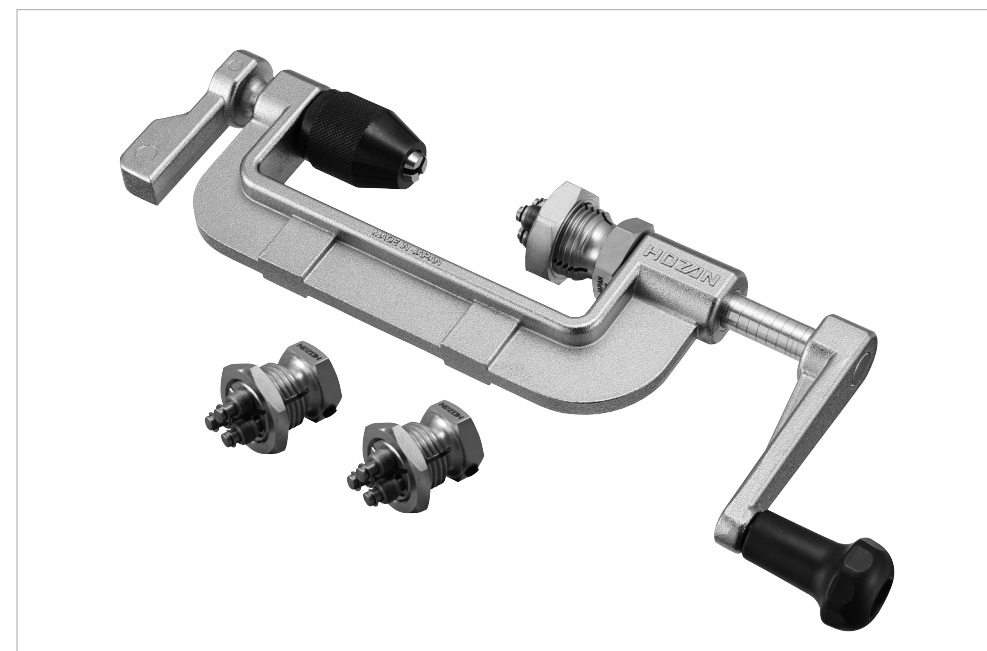
## C-702-22

スポークネジ切り器セット

## 取扱説明書

このたびはC-702-13/14/15 スポークネジ切り器、C-702-22 スポークネジ切り器セットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品はローラー部に強じんなダイス鋼を採用しています。ステンレススポークにも対応したネジ切り器です。

業務用



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店もしくは当社までお申し出ください。この取扱説明書には下記のマークをつけています。

⚠ 拡大損害が予想される事項

- この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは当社にご連絡ください。

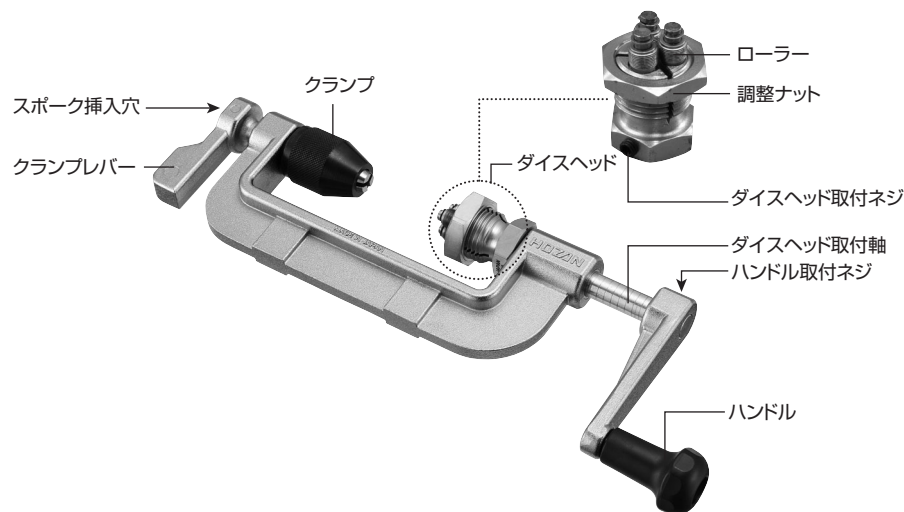
製造元 **ホーサン株式会社**

本社 〒556-0021  
大阪市浪速区幸町1-2-12  
<https://www.hozan.co.jp/>

# もくじ

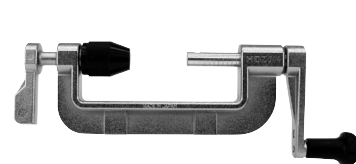
各部の名称	2-3
安全上のご注意	3
本体の使用方法	4-8
・ 準備	4
・ 使用方法	5-7
・ ダイスヘッドの校正方法	7-8
日常点検	9
メンテナンス・保管方法	9
製品の廃棄について	9
故障かな?と思ったら	10
お問い合わせ窓口	10
基本仕様	10
交換部品	11

# 各部の名称

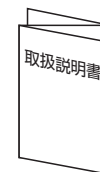


# 各部の名称

## 梱包内容



本体



取扱説明書



ダイスヘッド

クランプレバーは分解して梱包しています。「本体の使用方法」の手順に沿って、取り付けてください。

C-702-22 は3種のダイスヘッドを組み合わせています。ダイスヘッドの包装袋(黄色いポリ袋)には防錆効果を施しています。開封後もダイスヘッドの保管袋としてご使用ください。

## 用意するもの

- 本体固定用のパイプ
- 2.5mm六角レンチ
- 切削油

# 安全上のご注意

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

この取扱説明書には下記のマークを付けています。

- △ 拡大損害が予想される事項    ⊗ 禁止行為    ❶ 必ず行う    ❷ 分解禁止

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

- △ 警告 … 死亡、重傷をともなう重大事故の発生を想定してのご注意  
 △ 注意 … 傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、△ 注意 として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねくおそれがあります。正しく安全にご使用ください。

⚠ 注意 傷害や物的損害を想定してのご注意		
絵表示	重要事項	危害・損害
❶	水平で安定した場所に設置する。	ケガ・器物損傷のおそれがある。
❷	分解、改造しない。	
❸	本体に破損や変形、著しい摩耗が認められる場合は使用しない。	
❹	適応スポーク以外には使用しない。	

# 本体の使用法

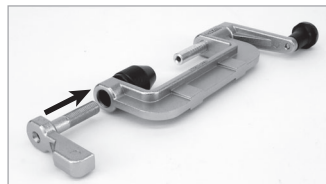
## 準備

### 1. クランプレバーを取り付ける

クランプレバーのネジを右図のように挿入し、時計方向に回して締め付けてください。

**注意** 器物損傷のおそれがある。

クランプレバーを締め付けるときや緩めるときは工具を使用せずに手で行ってください。打撃を与えると破損するおそれがあります。

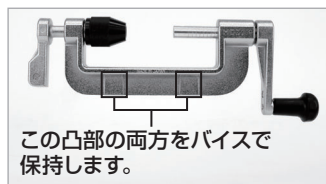


### 2. 本体をバイスに固定する

本体の凸部をバイスで保持します。

**注意** ケガや器物損傷のおそれがある。

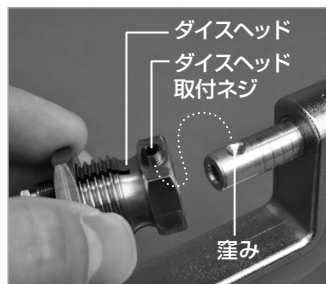
バイスは作業台へ確実に固定してください。



### 3. 加工するスポークに合ったダイスヘッドを取り付ける

ダイスヘッド取付ネジが十分に緩んでいる状態で、ダイスヘッドをダイスヘッド取付軸に挿入します。ダイスヘッド取付ネジとダイスヘッド取付軸の窪みの位置を合わせて、ダイスヘッド取付ネジを2.5mmの六角レンチで時計方向に回して固定します。

※ 加工するスポークに合うサイズのダイスヘッドがない場合は、別途ご購入ください。



呼び	スポークサイズ		ダイスヘッド品番
	線径	ネジサイズ	
#13	2.3mmφ	BC2.3	C-707-13
#14	2.0mmφ	BC2.0	C-707-14
#15	1.8mmφ	BC1.8	C-707-15

# 本体の使用法

## 使用方法

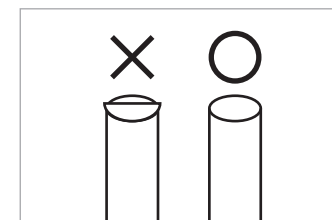
**注意** ケガ・故障のおそれがある。

- ❗ 無理な姿勢で作業しないでください。
- ⊘ 作業時は保護メガネを着用してください。
- ⊘ 作業ごとにローラーへ注油してください。

初めて使用するときは、必ず不要なスポークで以下の手順に沿って試してください。

### 1. スポークを必要な長さに切断する

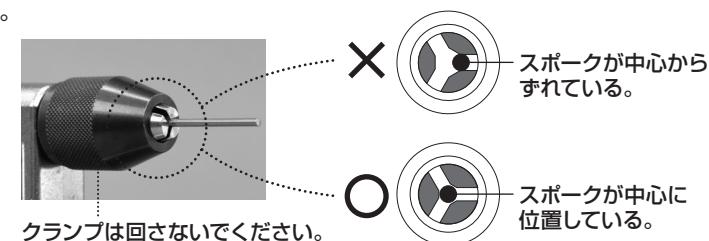
右図の×印のように線径からはみ出ている部分がある場合は、ヤスリなどを使って○印のように形状を整えてください。既存のネジの途中で切断しても作業可能です。



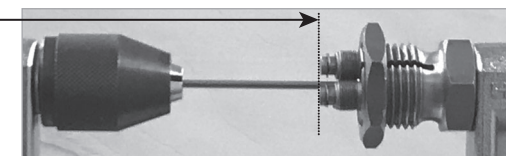
### 2. クランプレバーを反時計方向に回してクランプを開き、スポーク挿入穴からスポークを通す



・ スポークはクランプの3つのツメの中心に位置させてください。



・ スポーク先端が写真の破線の位置に届くようにしてください。



# 本体の使用方法

## 使用方法

3. クランプレバーを時計方向に回し、スポークを固定する

4. ハンドルをスライドさせ、ダイスヘッドの先端部にある3つのローラーの中心にスポークの先端が当たるように軽く押し付ける

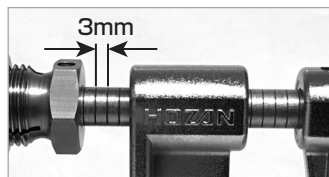


5. ローラー部分に切削油を注油し、ハンドルをスポークの方向へ軽く押し付けながら時計方向にゆっくりと回す

スポーク先端から3山以上ダイスヘッドが食い付いたら、以降はハンドルを押し付ける力を抜き、必要なネジの長さになるまで、時計方向にハンドルを回します。

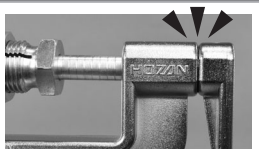


ダイスヘッド取付軸に刻まれた溝は3mm間隔となっておりますので、加工するネジの長さの目安にご利用ください。



**注意** 器物損傷のおそれがある。

ハンドルがベース本体に接触した場合にはそれ以上進めないでください。ネジ山を破壊し、スポークや本体を破損するおそれがあります。



6. 必要な長さまでネジが形成されたら、ハンドルを反時計方向に回転させ、スポークからダイスヘッドが外れるまで後退させる

7. クランプレバーを反時計方向に回しクランプを緩め、スポークを抜き取る

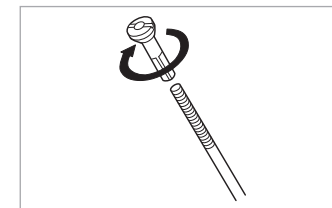
# 本体の使用方法

## 使用方法

8. 加工したネジの状態をチェックする

ご使用のニップルをスポークのネジに装着して嵌合の状態を確認してください。

ニップルがスムーズに装着できない場合はダイスヘッドを調整する必要があります。次項「ダイスヘッドの調整方法」を参照ください。



## ダイスヘッドの調整方法

それぞれのダイスヘッドは出荷時に規定のサイズに調整を行っております。ただし、作業を行うスポークの寸法誤差や長期のご使用により調整が必要になる場合があります。必要に応じて適宜、調整を行ってください。

用意するもの：ダイスヘッドのサイズに合った予備のスポーク、ベンチバイス、27mmのスパナ、2.5mmの六角レンチ

1. 2.5mmの六角レンチを使って、本体からダイスヘッドを取り外す

2. 取り外したダイスヘッドをベンチバイスに固定する

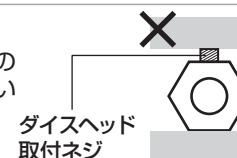
ダイスヘッドが動かないようしっかりと固定してください。



**注意** 器物損傷のおそれがある。

ダイスヘッドを本体に取り付けたままで調整作業を行わないでください。本体を破損、変形させてしまうおそれがあります。

ダイスヘッド取付ネジの面をバイスで保持しないでください。



3. 浸透性潤滑剤または潤滑油を調整ナット周辺に塗布する

**注意** 器物損傷のおそれがある。

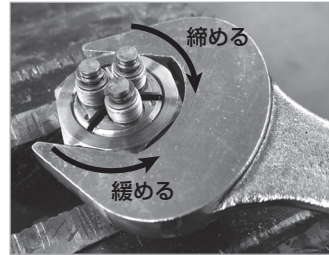
必ず注油してください。注油せずに作業を行うと調整ナットが焼き付きを起こし、ダイスヘッドを破損するおそれがあります。

# 本体の使用方法

## ダイスヘッドの調整方法

### 4. 27mmのスパナで調整ナットを回し調整する

- ・ 出来上がったネジ山が小さく、ニップルがスムーズに装着できない場合  
⇒ 右図のように調整ナットを時計方向に回転させ、締め付けます。
- ・ 加工時に、スポークにダイスヘッドが食い付いていかない場合  
⇒ 調整ナットを反時計方向に回転させ、緩めます。  
※ 1回の調整は30度程度にしてください。



### 5. 調整したダイスヘッドを本体に取り付ける

### 6. 実際にスポークへネジ加工し、ニップルとの嵌合状態を確認する

スムーズにニップルが装着できる状態であれば調整完了です。  
ニップルが通らない状態であれば、作業2~7を繰り返し、再度調整を行います。

# 日常点検

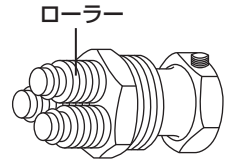
安全にご使用いただくために下記の日常点検をお勧めします。

点検項目	点検内容	処置方法
外観	本体に変形などの破損は見られませんか。	破損している場合は使用せず、当社まで点検・修理をご依頼ください。
ダイスヘッド	ダイスヘッドが摩耗し、作業性が低下していませんか。	ダイスヘッドは消耗品です。転造されたネジ山とニップルの嵌合が適正ではなく、ダイスヘッドの調整を行っても改善されない場合は新しいものと交換してください。 ローラー部だけの交換はできません。

# メンテナンス・保管方法

## 本体の保守、お手入れ

- ダイスヘッドのローラーの溝に切りカスが付着しているときは、ブラシなどで適宜清掃してください。



## 保管方法

**⚠ 注意** ケガや器物損傷のおそれがある。

**!** 子どもの手の届かない安全なところに保管してください。

- 高温・湿気・ホコリを避けて保管してください。
- 防錆を行って保管してください。
- 長期間使用しない場合は包装袋（黄色のポリ袋）で包んでください。

# 製品の廃棄について

廃棄するときは各自治体（または事業所）の廃棄方法に従ってください。

# 故障かな?と思ったら

製品に異常を感じたら、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。  
技術的なお問い合わせ、修理のご依頼などに対応しております。

## よくあるご質問 (FAQ)



Webサイトでは、頻繁にお問い合わせがある質問を製品カテゴリごとにまとめて紹介しています。  
ぜひ活用ください。

<http://faq.hozan.co.jp/support/>

# お問い合わせ窓口

ホーサン テクニカルホットライン

☎ 06-6567-3132

E-mail : [th@hozan.co.jp](mailto:th@hozan.co.jp)

[月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00、13:00~17:00]

<https://www.hozan.co.jp/>



# 基本仕様

品番	C-702-13	C-702-14	C-702-15
付属ダイスヘッド	C-707-13	C-707-14	C-707-15
ネジサイズ	BC2.3(56山)	BC2.0(56山)	BC1.8(56山)
適応スポーク	#13	#14	#15
適応スポーク形状	プレーン		
適応スポーク長	90mm以上		
適応スポーク材質	ステンレス/鉄		
外形寸法	230(W)×85(H)×31(D)mm		
重量	400g		

C-702-22 は共通の本体に3種のダイスヘッドを組み合わせたフルセットです。  
仕様は左記を参照ください。

# 交換部品

Webサイトに交換部品などの情報を掲載しております。



## 交換部品

品番	品名	仕様
C-707-13	ダイスヘッド(#13)	ステンレス/鉄製スポーク用
C-707-14	ダイスヘッド(#14)	
C-707-15	ダイスヘッド(#15)	